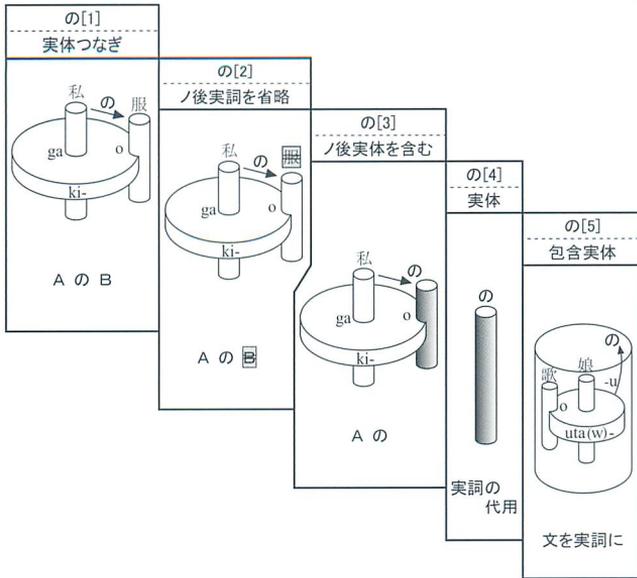


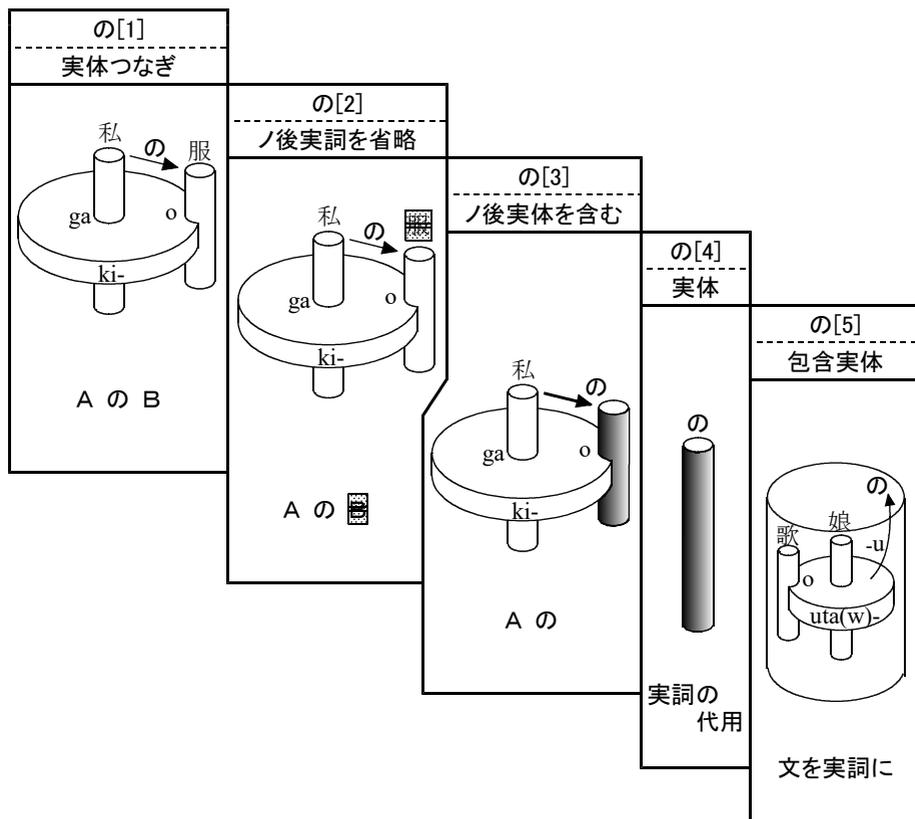
日本語のしくみ (5)

—— 日本語構造伝達文法 W ——



日本語のしくみ (5)

—日本語構造伝達文法 W—



今泉 喜一

まえがき

ちょっと厚め

この『日本語のしくみ(5)』は以前のものより若干厚めになっています。実は、W6章、W7章は、実体(名詞)の修飾を扱うはずの次回まわしにしたほうが、本当は美しかったのですが、しかし、そんな悠長なことを言っていてよいのか、70歳を過ぎていつまで健康でいられると思うのか、次回は本当にあるのか、と自問したわけです。出せるときに出しておこう、ということです。

中国語版

今回は、特筆すべきことが一つあります。『日本語構造伝達文法』の中国語版が出版されました。

『日本語構造伝達文法』は2000年に初めて出版したのですが、その2012年版を、中国の首都師範大学で教職に就いている孫偉氏が、大学から出版してくれました。

『日本語構造伝達文法』 今泉喜一 著、孫偉 译、首都师范大学出版社、2018
孫偉氏はこの文法の中の、特に時相の考え方を参考にして、中国語の時相について精力的に研究を進めています。中国語独自の時相の問題にも取り組んでいます。

その孫偉氏は、この本の翻訳は楽しかったと言ってくれています。

韓国語版(出版はしていません。)に続く、2言語目での翻訳となりました。

本書では4つのことを扱う

本書はW7章までであり、次の4種類の事項を扱っています。

- [1] 構造形成の力 「構造形成に働く5つの力」(W1章)
- [2] 格 「格」(W2章), 「格表示の歴史」(W3章)
- [3] 「の」 「『の』の拡張5段階」(W4章), 「『の』の9相」(W5章)
- [4] 実体の分類 「実体の分類 I (形式)」(W6章), 「実体の分類 II (肯否)」(W7章)

次に、それぞれの事項を説明します。

[1] 構造形成の力

W1章においては、ことばを使うときに働く力について考えます。

私たちは物体、たとえば石を見て、そこに力が働いているとはふつつ感じませんが、 $E=mc^2$ という方程式により、物体が存在するためにはとてつもなく大きな力が働いているのだということを教えられます。

これを参考にして考えれば、ことばにも、つまり、そのもととなる構造(実体と属性、それを関連づける格から構成される。)に力が働いているはずで、構造を伝達する際に、構造そのものに働く力もあり、個人辞書を含む個人百科事典に働く力もあるはずで、……それぞれの力について考えます。

[2] 格

W2章においては、「格」について考えます。「格とは、実体と属性を論理的に結びつける力である」と定義します。これは、語弊はありますが、分かりやすく言えば、「格は名詞と動詞の接着剤」といえます。「格」がなければ、名詞や動詞は構造を作ることができません。文を作ることができません。……この「格」について、主格、目的格、一般格、優先格、同名格についてなど、考えます。

「格」は、「実体」(名詞)のこの世の中における、属性(動詞等)とのあり方を示すもので、ものごとの様態を示そうとするものです。日本語とか英語とかに関係なく、人間は「格」を把握しています。その把握の法則性は、将来、きっと明らかにされるでしょう。

W3章においては、格が現在の形で表示されるようになった歴史を考えています。主格、目的格は優先格なので、昔はその表示が必要なかったこと。「を」はもともと「間投描写詞」で、今日では目的格や、そのほかの格も表すようになったこと。「に格」はしっかり表示されていたこと。格の明らかなものは格表示されないこと。「が」や「で」が比較的新しい格表示であること。さらに、準格詞についても述べています。

[3] 「の」

W4章においては、「の」が歴史的に5つの段階を踏んで今日に至っていることを示します。①「私の服」、②「私の服」、③「私の」、④「私が着るのはこれだ」、⑤「彼が歌うのを客席で待つ」の5段階です。(国語文法は、西洋文法にならっているので、「の」が格を表すということにしています。「格」の定義が違います。西洋文法の「格」は名詞の形態変化をさしています。)本文法の定義では、「の」は格を表しません。

W5章においては、「の」に関わる9種の問題を扱っています。①「秋田のバス」「秋田へのバス」、②「こどもを愛する」「こどもへの愛」、③「雨が降るので家にいる」、「雨が降るのに山へ行く」、④「あした学校へ行くのです／行くの?」、⑤「魚のおいしいの」、⑥「結婚するの望み」、⑦「自由の女神」、⑧「この」、⑨「UFOを見たのは彼だ」

[4] 実体の分類

W6章においては、実体が構造においてとる形式が8種類あることを述べます。実体は基本的に円柱の形をしていますが、8種類それぞれが個性を持っています。

- ①普通実体(A～F)、②疑問実体、③不特定実体、④円筒実体、⑤転成実体、⑥包含実体、⑦形容実体、⑧否定実体

W7章においては、実体(客体)を肯定、否定1、否定2との関わり方の違いで、A型客体～E型客体の5種類に分けます。……A型客体は肯定だけに関わる客体、B型客体は肯定と否定1に関わる客体、C型客体は肯定と否定1、否定2に関わる客体、D型客体は肯定と否定2に関わる客体、E型客体は否定2だけに関わる客体です。

これは「副詞」ではないかと思う人もあるかもしれませんが。国語文法では「副詞」という品詞を設定しますが、構造上には「副詞」とよべる要素はありません。

練習問題

多くのページの下部にある問題に答えてみてください。その章節で扱われている事項について理解を深めることができるものと思います。念のため解答例も示してありますので参考にしてください。

参照箇所

各節の先頭ページなどの右肩に、参照箇所が示してあります。参照箇所には本書より詳しい記述がなされていることもありますので、参照いただければ幸いです。その参照箇所を示す記号については次をご覧ください。

参照箇所を表示する記号

「日本語構造伝達文法」にはすでに9冊の本があります。その9冊の中の特定の章節を参照する必要があるときは、次のような記号を使って表示します。

- ① 『日本語構造伝達文法』の中の章節…『文法』3.1 あるいは単に 3.1 / 3章
- ② 『日本語構造伝達文法 発展A』の中の章節… A 3.1 のように「A」が付きます。
- ③ 『日本語態構造の研究－日本語構造伝達文法 発展B－』の中の章節
… B 3.1 のように「B」が付きます。
- ④ 『主語と時相と活用と－日本語構造伝達文法 発展C－』の中の章節
… C 3.1 のように「C」が付きます。
- ⑤ 『日本語・中国語・印欧語－日本語構造伝達文法 発展D－』の中の章節
… D 3.1 のように「D」が付きます。

入門書

- ⑥ 『日本語のしくみ (1)－日本語構造伝達文法 S－』の章節…「S」が付きます。
- ⑦ 『日本語のしくみ (2)－日本語構造伝達文法 T－』の章節…「T」が付きます。
- ⑧ 『日本語のしくみ (3)－日本語構造伝達文法 U－』の章節…「U」が付きます。
- ⑨ 『日本語のしくみ (4)－日本語構造伝達文法 V－』の章節…「V」が付きます。

ホームページ

「日本語構造伝達文法」はホームページでも情報発信を行っています。このサイトは簡単に「ニコデブ」(日本語構造伝達文法の略)で検索することができます。

<http://www012.upp.so-net.ne.jp/nikodebu/>

このサイトでは、著書『日本語構造伝達文法』と、『日本語構造伝達文法 発展A』が読めるようになっているほか、「不思議ノート」があり、また、かなりの部分がPDFとパワーポイント(アニメーション活用)で掲載してあります。

研究会

小さな研究会ですが、JR八王子駅近くで月1回開いています。研究会の日時、場所等の案内はホームページにあります。関心のある方はお気軽にご参加ください。

2020年4月 今泉喜一

目次

まえがき i

目次 iv

日本語構造伝達文法の歌・4 viii

作詞・作曲うら話 x

W1章 構造形成に働く5つの力 1

W1.1 $E = mc^2$ (2)

W1.2 構造形成に働く5つの力 (3)

① 実体に働く力 (3)

② 属性に働く力 (4)

③ 格に働く力 (4)

④ 構造に働く力 (5)

⑤ 個人百科事典に働く力 (5)

W1.3 5つの力はまだ数値化できない (6)

日本語文法研究が普遍性につながる (6)

W2章 格 7

W2.1 格 (8)

[1] 格 (8)

[2] 格の表示位置 (9)

[3] 構造を伝達する (10)

[4] 文中に無格の実詞はない (10)

W2.2 主格と目的格 (11)

W2.3 優先格 (12)

[1] 主格と目的格は優先格 (12)

[2] まず優先格が決まる (14)

[3] 非優先格の中の優先性 (15)

[4] 優先格の確認 (16)

W2.4 目的語ではないが、格(意味関係)の自明なもの (17)

W2.5 同名格 (18)

同名格を構造図に示す (19)

W2.6 すべての格を把握する (20)

W3章 格表示の歴史 21

- W3.1 「を」とは何か (22)
 - 「を」は間投描写詞だった (22)
 - 間投描写詞としての「を」のあり方 (23)
 - 間投描写詞「を」の位置 (24)
- W3.2 格表示の歴史[1] 主格 (28)
- W3.3 格表示の歴史[2] を格 (30)
 - 目的格を表す「を格」 (31)
 - 一般格の「を格」 (31)
- W3.4 格表示の歴史[3] に格 (32)
- W3.5 格表示の歴史[4] へ格 (34)
- W3.6 格表示の歴史[5] で格 (36)
 - 「で」の誕生, その意味すること (37)
- W3.7 格表示の歴史[6] と格 (38)
 - 読んだって言う (39)
 - 谷さんて人 (40)
- W3.8 格表示の歴史[7] から格 (41)
- W3.9 格表示の歴史[8] より格 (42)
- W3.10 格表示の歴史[9] まで格 (42)
 - ① 格詞 (42)
 - ②~④ 非格詞 (②小円筒 ③包含実体 ④相対化描写詞) (43)
- W3.11 格表示の歴史[10] Ø格 (44)
- W3.12 格表示の歴史[11] 一覧表 (45)
- W3.13 準格詞 (46)
 - について (46)
 - にVて とVて をVて (47)

W4章 「の」の拡張5段階 51

- W4.1 「の」は実体をつないで表層化する (52)
- W4.2 「の」[1]…実体つなぎの「の」 (54)
- W4.3 「の」[2]…ノ後実詞を省略する「の」 (56)
- W4.4 「の」[3]…ノ後実体を含む「の」 (57)
- W4.5 「の」[4]…便利な実体の「の」 (58)
- W4.6 「の」[5]…包含実体としての「の」 (62)
- W4.7 「Ø包」が「の」に (64)
- W4.8 「の」の拡張5段階の一覧表 (66)

W5章 「の」の9相 67

- W5.1 AへのB 表示できる格 (68)
- W5.2 AへのB 格の代用 (70)
- W5.3 「ので基」「のに基」 (73)
- W5.4 「のだ基」「のです基」 (74)
- W5.5 「魚のおいしいの」の構造 (76)
- W5.6 「結婚するの望み」の構造 (77)
- W5.7 「自由の女神」と「自由な女神」 (78)
- W5.8 「この」「こんな」 (79)
- W5.9 強調構文の構造 (80)
 - ① 強調構文A 実体を強調 (80)
 - ② 強調構文B 格つき実体を強調 (81)

W6章 実体の分類 I (形式) 83

- W6.1 実体は形式で分類すると8種類 (84)
 - 実体の8種類の分類表
- W6.2 実体[1] 普通実体 (86)
 - 3とおりの普通実体([1a],[1b],[1c]) (86)
 - 普通実体A～普通実体Fの表 (87)
 - 普通実体A～普通実体Fの6種類 (88)
 - 普通実体A (88)
 - 普通実体B (88)
 - 普通実体C (88)
 - 普通実体D (89)
 - 普通実体E (89)
 - 普通実体F (89)
- W6.3 実体[2] 疑問実体 (90)
- W6.4 実体[3] 不特定実体 (91)
- W6.5 実体[4] 円筒実体 (92)
- W6.6 実体[5] 転成実体 (93)
 - 動詞が実体に転成 (93)
 - 形容詞が実体に転成 (93)
- W6.7 実体[6] 包含実体 (94)
 - 意味のない包含実体 (94)
 - 意味のある包含実体 (94)
- W6.8 実体[7] 形容実体 (96)
- W6.9 実体[8] 否定実体 (96)

W7章 実体の分類Ⅱ (肯否)	97
W7.1 肯定・否定1・否定2 (98)	
W7.2 格を表示する・しない (99)	
W7.3 肯定・否定との関係…5種類の客体 (100)	
[1] A型客体～E型客体 (100)	
[2] A型客体～E型客体の構造 (101)	
W7.4 A型客体 (102)	
W7.5 B型客体 (103)	
W7.6 C型客体 (104)	
W7.7 D型客体 (105)	
W7.8 E型客体 (106)	
「 \emptyset 2格」とは (106)	

質問の解答例	111
W1章 構造形成に働く5つの力 (112)	
W2章 格 (113)	
W3章 格表示の歴史 (115)	
W4章 「の」の拡張5段階 (120)	
W5章 「の」の9相 (124)	
W6章 実体の分類Ⅰ (形式) (129)	
W7章 実体の分類Ⅱ (肯否) (132)	

あとがき (135)

本書を読んで答えられるようになったこと (136)

コラム目次

コラムW1 「日本語構造伝達文法」の誕生と発展 (48)
コラムW2 一部の「までに」は格か (50)
コラムW3 国語文法は伝統芸能? (82)
コラムW4 「もっと右」の構造……「もっと」は「右」を修飾? (107)
コラムW5 「副詞」とはどういうものか (108)
コラムW6 身体と表現 — 構造と表現 (110)

日本語構造伝達文法の歌・4

作詞・作曲 今泉喜一
 朗言 澁谷郁代

♩=80

The musical score is written in 4/4 time with a key signature of two flats (Bb and Eb). It consists of five staves of music with lyrics underneath. The lyrics are written in a style that emphasizes syllable structure, with hyphens and dashes used to indicate the timing of syllables. The chords are indicated above the notes.

か ぜ が ふ ー く と と き に
 か く は む ー す ぶ つ よ く
 に じ に あ ー え る き み に

おもいだす きくまましんじた はたちのころは かくとはなにかわ
 じつたいと どうしけいしようした いのぞくせいを こうぞうをつくる
 ひしぶりに きみにもらった シャツにきがえて パスにのってゆき

からなかつた かぜがふーいて そつと ささやいた
 かなめのちから かくのかーずは なみよ いくつある
 そちらについて きみにみーせたい ものが ここにある

じつたいとぞくせいの ろんりかんけい かーくにそなわる ほうそくだけは
 よせてはかえしと どろくなみは へんじにたゆたい そのほうそくは
 かくのしくみはど のようなものか じしょうをいかにと らえているのか

なみにきけ
 じこにきけ
 じこにとぅ

x3times

- 1 風が吹くと 時に 思い出す
聞くまま信じた はたちの頃は
格とは何か 分からなかった
風が吹いて そっと ささやいた
(風)「実体と属性の 論理関係」
(風)「格に備わる法則だけは 波に聞け」
- 2 格は結ぶ 強く
実体と 動詞, 形容詞, 態の属性を
構造を作る かなめの力
(私)「格の数は, 波よ, いくつある」
寄せては返し とどろく波は 返事にたゆたい
(波)「その法則は 自己に聞け」
- 3 2時に会える 君に 久しぶりに
君にもらった シャツに着替えて
バスに乗って行き そちらに着いて
君に見せたい ものが ここにある

(私)「格のしくみは どのようなものか」
(私)「事象をいかに 捉えているのか」
(私)「自己に問う」

作詞・作曲うら話

この曲では「格」と「格の法則把握への願い」について歌っています。

[1番]若いころは、「格」について、教えられるままに、「名詞類が文の中で他の語に対して持つ関係である」と理解していました。しかし、これでは機能の大きく異なる「の」も格になってしまいます(「の」の機能については本書W4章、W5章を参照)。「格」とはいったい何なのか。……そんなとき、風が教えてくれました。「格とは実体と属性の論理関係だ」と。しかし、「格に備わる法則」については教えてくれず、「波」に聞け、とのことでした。

[2番]「格」は構造をつくる要の力です。「格」は、物が存在様態とどのように関わるのかを示しています。この関係のあり方を整理する法則が見つければ、格をもれなく把握することができるようになるはずです。……この法則について、「波」に聞きました。が、波は答えてくれず、自己の内なる自然に聞け、とのことでした。

[3番]「格」は実にいろいろな論理関係を表します。ここには「に格」の例を、9つだけですが、挙げてみました。……人間の表現しようとする論理関係はいったいいくつあるのでしょうか。これを捉える法則を知りたいと思います。尋ねていけば、内なる自然は、いつか教えてくれるでしょう。

歌謡教室に通うまえは、カラオケに歌いやすい曲と歌いにくい曲があると感じていました。キーを上げるとか下げるとか言う人もいましたが、私は無頓着でした。

歌謡教室に通い始めて、やっと気がつきました。……教室では初めにカラオケのキーのまま歌いますが、次に先生が「3つ上げましょう」と、キーを上げます。すると、なんということでしょう、格段に歌いやすくなります。表現の自由度が増します。このとき初めて、キーの大切さを理解しました。ちなみに、キーの1度は半音です。

美空ひばりやペギー葉山、中曽根美樹などの女性歌手の歌を歌うときは、5度も上げます。女性歌手で、もともと高いのを、男が歌うのだから、キーは下げるのではないかと思います、大違い。上げるのでした。

DAMのカラオケでは、私は、「青い山脈」は+3、「修学旅行」も+3、「高校3年生」は+2です。

その人に合ったキーがあるということを痛感しています。ということは、ひよっとすると、文法にも、その人に合った考え方というものがあるのかもしれませんが。

私は、自分だけは納得のできる文法を作っていますが、人によっては、従来の国語文法のほうが自分の思考方法にかなっていると考えられるかもしれません。そう、大多数の日本人はそうかもしれません。……つまり、ということは、私が異常なのですか。……文法では違いますが、人は、歌だけは、自分のキーで歌うのがいちばんです。